

ブラジル金融政策（2021年6月）

「部分的」ではなくなった正常化への道のり

2021年6月17日

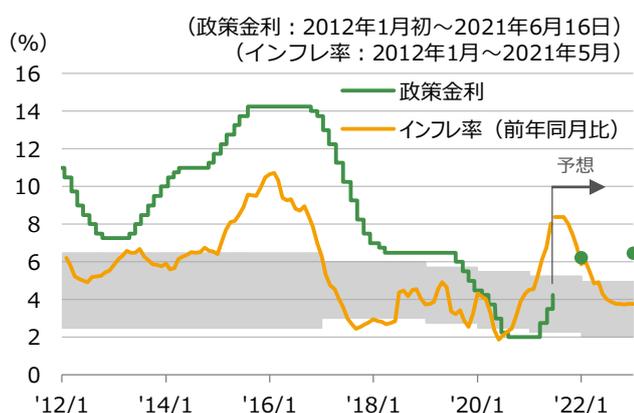
市場予想通り0.75%ポイントの利上げを決定し、追加利上げも示唆

ブラジル中央銀行は6月16日（現地）、市場予想通り政策金利を3.50%から4.25%へ引き上げると発表しました。3月と5月の金融政策決定会合に続いて、3会合連続での0.75%ポイントの利上げとなり、声明文では次回8月も同じ幅の利上げを実施することが示唆されています。

過去2回の利上げ時は、金融政策の「部分的な」正常化の一環である旨を謳っていましたが、今回の声明文では「部分的な」との文言はなく、中立金利（6～6.5%）に向けて利上げを進めることが基本シナリオとなりました。この背景には、想定を上回るペースでの景気回復が続いていることに加え、今後の景気下振れリスクも著しく低下したこと、インフレ懸念が足元で一段と高まっていること、が挙げられます。ブラジル中央銀行が実施している最新のエコノミスト調査によると、政策金利は今年末に6.25%、来年末に6.50%に達する予想となっているため、この声明文を受けて市場予想が一段と切り上がる可能性は低いとみられますが、そこに向けて利上げが進む蓋然性は高まったと言えます。

3月末以降、ブラジル・レアルの上昇が目立っています。背景には、ブラジル中央銀行による積極的な利上げや想定を上回るペースでの景気回復により、海外からブラジル金融市場へ資金が流入していること、資源価格の上昇などにより貿易収支が大幅に改善していること、などがあります。積極的な利上げが奏功し、市場予想通り今年の秋からインフレ率が沈静化に向かえば、持続的な景気回復に対する期待から株式市場への更なる資金流入も期待できるため、今後のインフレ動向を注視していきたいと考えています。

政策金利とインフレ率



株式市場への資金フローとブラジル・レアル



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management